

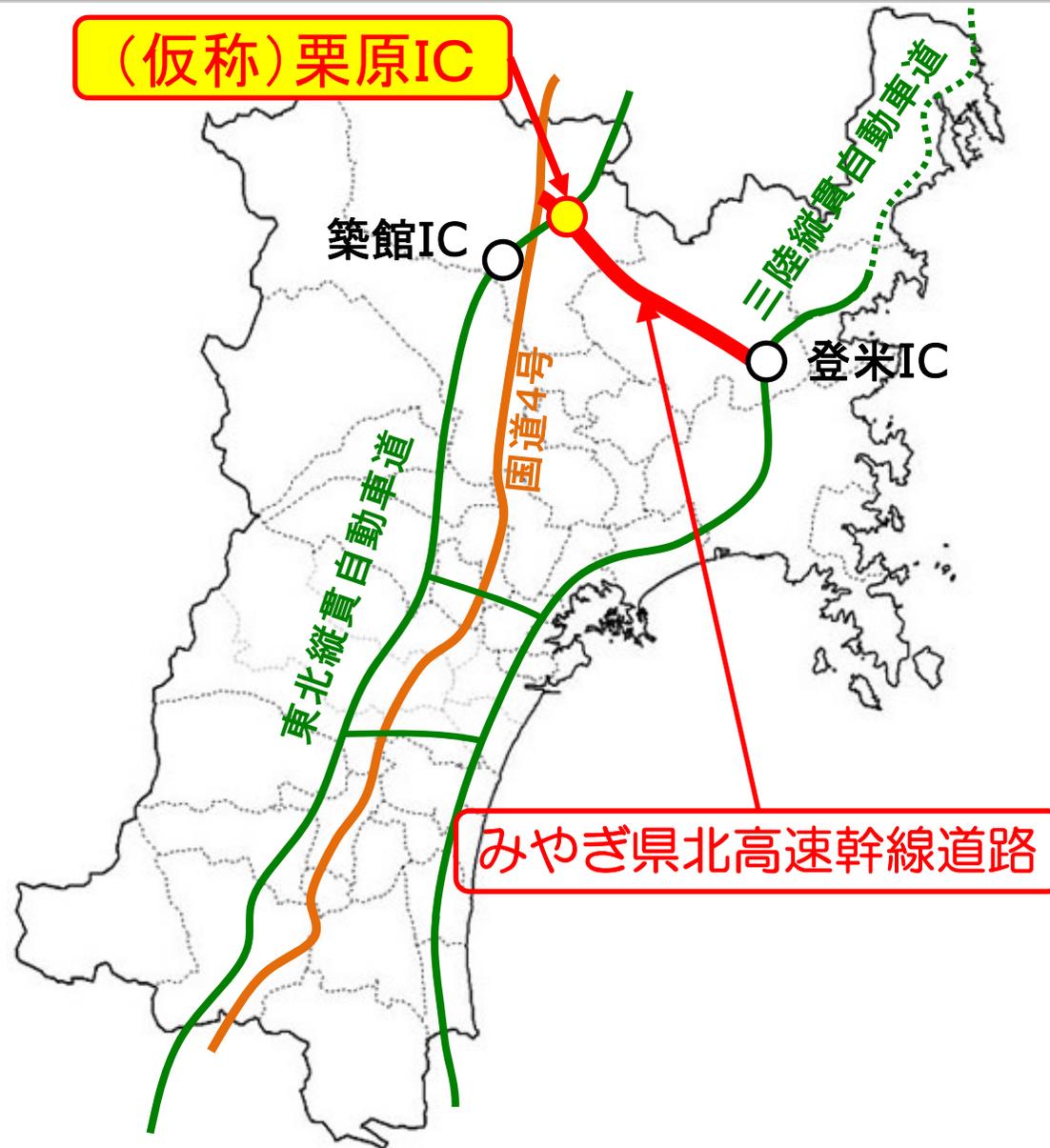
(仮称) 栗原インターチェンジ 整備事業説明会

宮城県北部土木事務所

栗原地域事務所

令和6年6月26日(水) 午後7時～

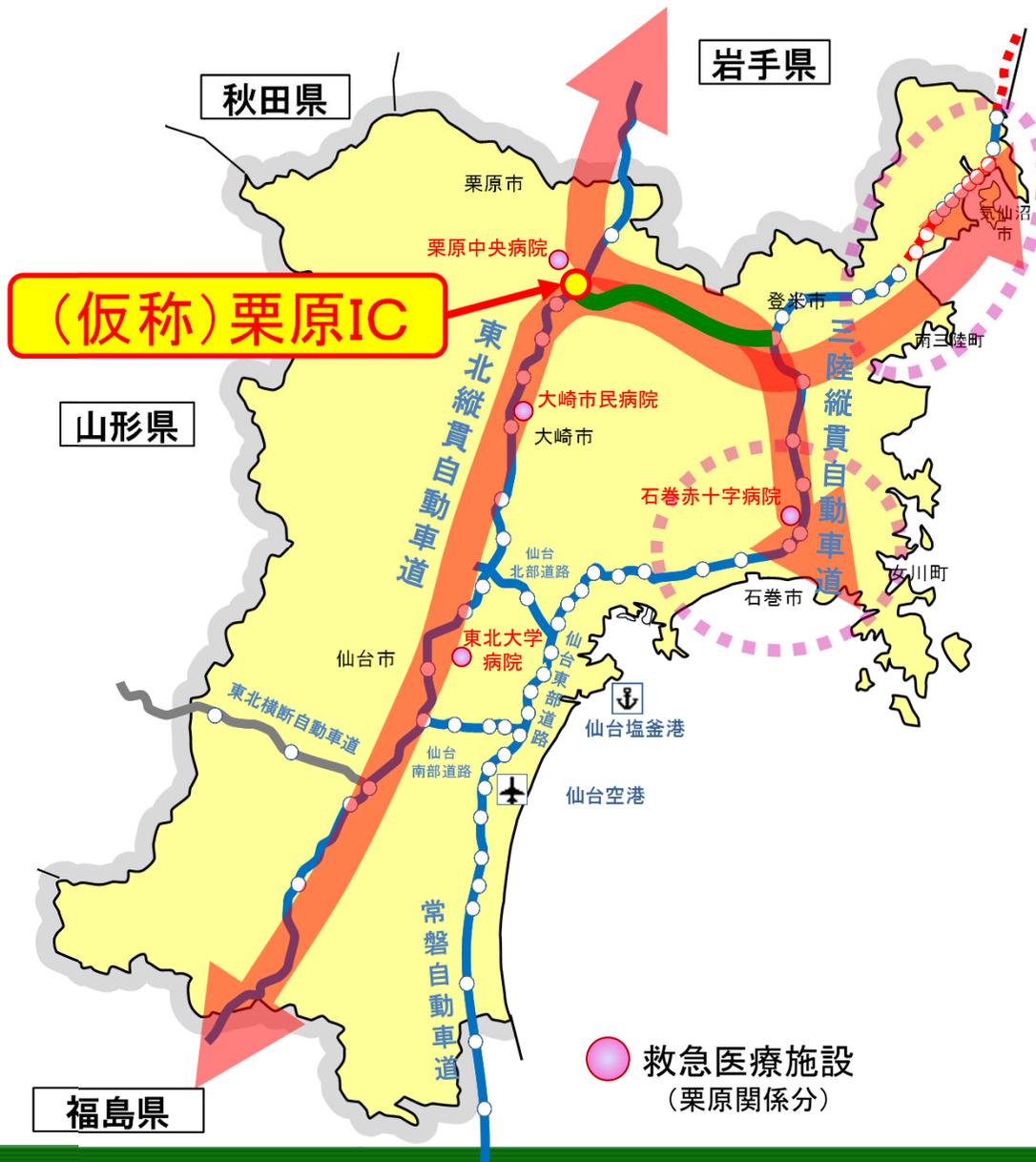




みやぎ県北高速幹線道路は、県北地域における東西連携を強化し、産業振興、文化交流、地域開発の促進などを図る目的で計画された道路です。

物流の大動脈である「東北自動車道」と復興道路である「三陸自動車道」をつなぎ、被災地復興支援や災害時の救援活動を担う「命の道」としての機能も期待されます。

(仮称)栗原インターチェンジの設置により、みやぎ県北高速が高速道路体系に確実に接続され、その機能が一層高まります。



- 県内外の広域的な利用により産業活動や観光交流の活性化が期待されます。
- 一刻を争う救急医療搬送時間の短縮や災害時の救助活動、緊急物資輸送にも貢献します。

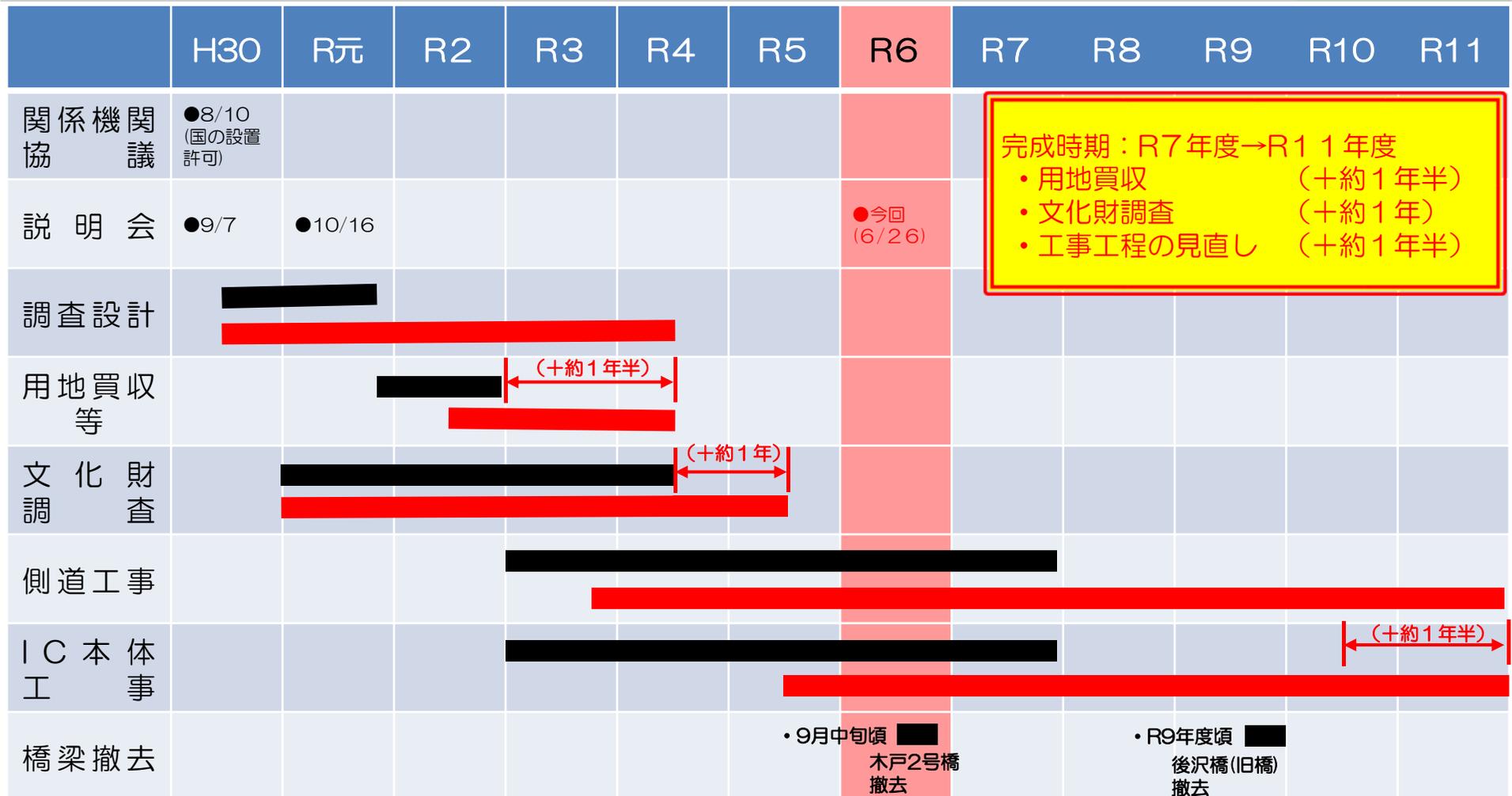
(参考) 大崎・栗原医療圏の救急医療機関
栗原中央病院 (第二次救急医療機関)
大崎市民病院 (第三次救急医療機関)
東北大学病院 (小児第三次救急医療機関)

※第二次救急医療機関 (入院を要する患者)
第三次救急医療機関 (重篤な患者)

みやぎ県北高速幹線道路の整備状況



事業全体の流れ



用地買収および文化財調査で遺構発見による調査の追加やIC本体工事における施工計画の変更に伴う工事工程の見直しにより、事業期間がR7年度からR11年度へ変更となりました。

インターチェンジの完成イメージ



インターチェンジの現在の状況

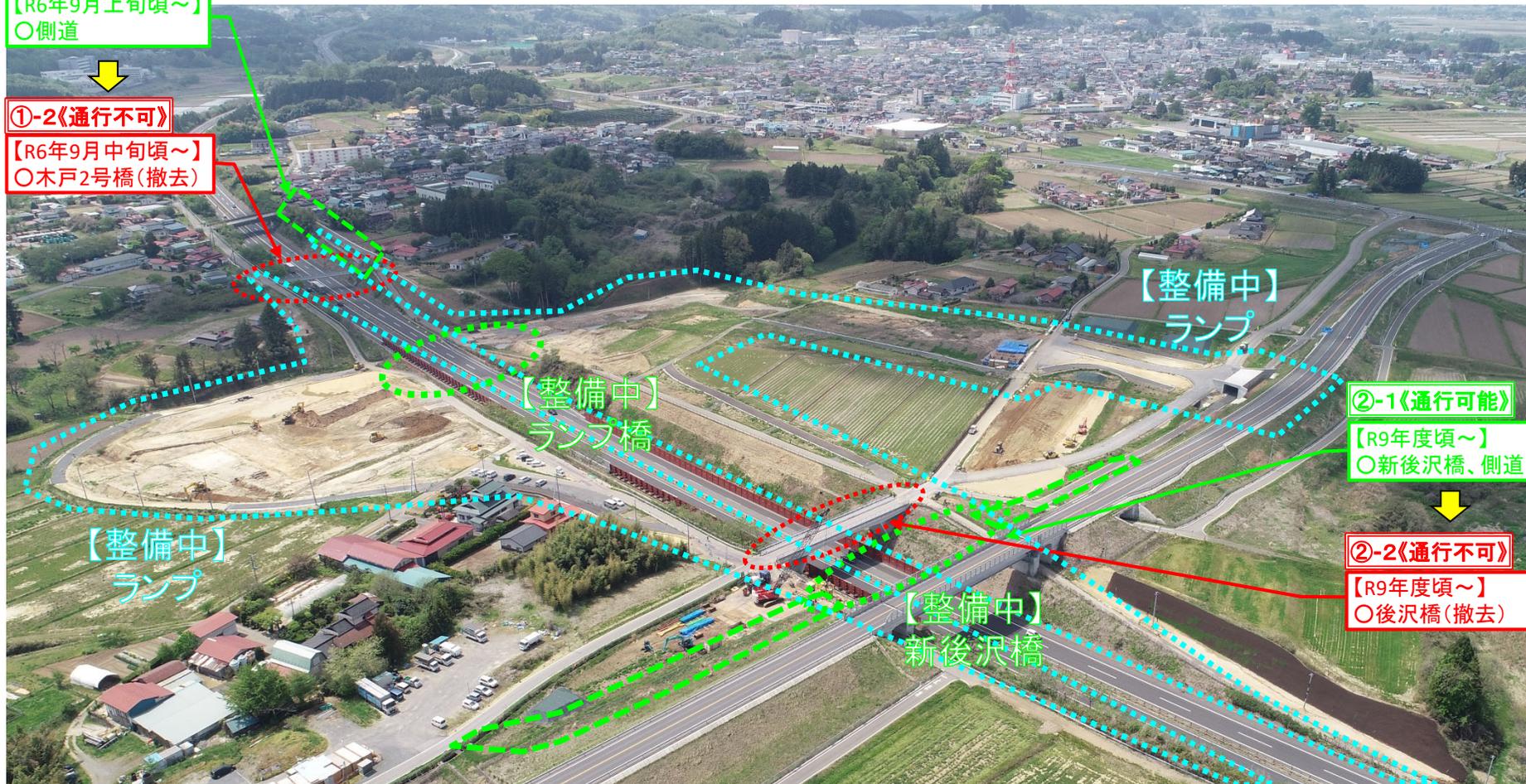
撮影日：令和6年4月29日

①-1《通行可能》
(暫定供用)

【R6年9月上旬頃～】
○側道

①-2《通行不可》

【R6年9月中旬頃～】
○木戸2号橋(撤去)



【施工区分】

- ・宮城県施工：側道工事
- ・NEXCO施工：IC本体工事(ランプおよび橋梁関連)

通行止め区間および迂回路

